



昭和十三年九月十一日

時局特報

(第三十七號)

了

吉田 石 三

極秘

臺灣總督官房外事課

主要資料名略號

	Canton Daily Sun. D.	C. D. S.
	China Weekly Review. W.	C. W. R.
	North China Daily News. D.	N. C. D. N.
	South China Morning Post. D.	S. C. M. P.
支 那	新 聞 報、 日、	新聞報
	申 報、 日、	申 報
	廣東七十二行商報、 日、	廣 商 報
	廣 州 共 和 報、 日、	廣 和 報
	Manila Daily Bulletin. D.	M. D. B.
比 律 賓	Philippine Herald. D.	P. H.
	Tribune. D.	T.
	Opinion. D.	O.
印 度 支 那	Courrier d'Haiphong. D.	C. d. H.
暹 羅	Bangkok Times. D.	B. T.
	Siam Chronicle. D.	S. C.
馬 來	Singapore Free Press. D.	S. F. P.
	Straits Times. D.	S. T.
蘭 領 印 度	Bataviasch Nieuwsblad. D.	B. N.
	Soerabaiasch Handelsblad. D.	S. H.
其 他	Asie Française (Paris) M.	A. F.
	Economist (London) W.	E.
	France-Outre-Mer (Paris).....	F. O. M.
	London Times. W.	L. T.
	New York Times. D.	N. Y. T.
	Nieuw Rotterdamse Courant. D. ...	N. R. C.
	Statist. (London) W.	S.
(備 考)	D. - Daily, W. - Weekly	
	日 - 日 刊	

支 那 一

- 一、戦局の概勢
- 二、旅客機不時着事件

華 僑 七

- 一、蒋介石の兩子息―一はソ聯仕込、他は獨逸留學
- 二、福建政局動搖、陳儀も漢口へ召喚

華 僑 一三

(河内)

- 一、雲南緬甸間の公路竣成―但し未だ通車せず
- 二、海防の支那領事市長を往訪―海南島の防備を語る
- 三、海防支那青年の排日宣傳―救亡宣傳社を組織

臺灣總督官房外事課

- 四、英國船軍需品を積載―海路により支那内地に運ばる
- 五、支那青年航空速成科を卒業
 - ―漢口へ歸還空軍に参加す
- 六、陳維周海防へ來りて活躍
- 七、佛蘭の日貨輸入禁止

華 僑 一九

(爪哇)

- 一、漢口日本租界を第四特區と改名
 - ―抗戰記念日等を以て町名とす
- 二、廈門の僑務局福州に移轉
- 三、廣西省の豫備部隊參戰を準備

比 律 賓 二三

- 一、ケソン大統領の日本訪問

タイフナイター用紙

- 二、日本水兵の陵水上陸企圖
- 三、マニラ華僑會コレラ豫防注射液を送付
- 四、日軍スパイを輿地へ派遣
- 五、日本の取るべき手段は妥協なり
- 六、日本の背後にありて後押し居るは英國か
- 七、日・露間の紛争

暹 羅 三三

- 一、暹羅市場に於ける日本品輸入状況
- 二、上海居住日本人の激増に外人脅威を感ず
- 三、比島の經濟的凋落と日本の進出
- 四、在香港支那避難難民實に三萬人
- 五、日支事變の爲め一英商自殺す

臺灣總督官房外事課

馬 來 三七

- 一、佛國訪問の佛支銀行總裁寄星談
- 二、支那救濟基金再懸募
- 三、支那向コレラ豫防注射液の大量輸送
- 四、本年七月中日本回ゴム及錫激減
- 五、在新加坡華僑團體の八、一三記念行事
- 六、英、新水雷艇隊香港へ
- 七、佛國極東海軍司令官新加坡を公式訪問
- 八、土民兵の大量訓練は不可か
- 九、漢口は第二のジエルダン
- 一〇、蘭印更に爆撃機を整備
- 一一、一九三八年マレイ人口數發表
- 一二、支那人マレイ人を凌駕し第一位を占む

タイプライター用紙

一、戦局の概勢

(八月二十日) 日本軍の漢口進撃は板垣征四郎中將が五月
中、彼の新計畫が實施された時、期待した程には迅速に進捗し
ない。電光石火の攻撃が漢口に對してなされる筈であつた。東
京及大阪の新聞紙は「若し漢口が陥落するならば」「漢口が陥
落した時は」を前提とする揣測臆測を繰返し發表した。かかる
豫想が過去六週間行はれつつあつた。而して漢口よりの報道に
據れば、武漢三鎮は惹起される虞が全然無いでも無い國際問題
紛糾の發展を除外しても少くともなほ二箇月は抵抗し得ると述
べてゐる。同盟通信はある外國大使館附陸軍武官の談話として
漢口が九月までには陥落すると報道した。同盟通信はこの外國
武官は漢口周圍の支那軍前線を廣範圍に亘り觀察した結果、か

臺灣總督官房外事課

かる結論に到達したと報じたが、外國武官が日本通信員に對し
かかる豫言をなしたか否かは大いに疑はしい。兎もあれ、當面
の小康を糊塗するために、若し漢口が陥落するならば「が日本
軍前線に日々發表されてゐる。最初の日本軍の計畫は現在彼
處されてゐる鐵道に沿ひ九江から南下して南昌に進撃する筈で
あつた。南昌から日本軍は西進して長沙を攻撃し、一旦長沙を
手中に收めるや否や粵漢線を遮斷し、漢口攻撃のため北進し得
るにゐつた。この進路は南潯鐵道沿線及び江西省内の廣東軍の
根據地抵抗により放棄された。廣東指揮官 Hsieh T. 將軍は江
西省に在る數個師を指揮して日本の進撃を阻止するに成功した。
彼は少くとも年末迄は阻止し得ると自信してゐる。Hsieh 將軍
は多半江西省内に於て駐蹕討伐に従事し江西の地理的事情に精
通して居るが故に拔擢されたのである。Yeh Shao, Li Han-tsun
Pen Lin-sheng 及び其他の老巧なる廣東將領はすべて Hsieh T.

の麾下に在る Hsiao Ho は一九二七年十二月二十九日廣東に於ける共產黨のクーデターの鎮壓により廣東在住外國人に知られてゐる。

兩島への進軍に失敗した日本軍は亦揚子江北岸は Hsiao Ho 及宿松縣に於て夏期の増水により氾濫して機械化兵團の策戦の不可能なることを見出した。今や唯一の進路は揚子江の兩岸に在り九江の西方約二十二哩 (朱湖) の南。瑞昌を攻撃することである。この地域は氾濫の低地であり、それ故に機械化戦團に適さない。江上の日本艦艇及び砲艦は揚子江兩岸に於て目撃され、隊により保護せられるのでなければ溯江することが不可能であるから大いに活躍することを得ない。加之日本軍艦は現空襲及び兩岸砲台からの砲撃を受けつつある。この障礙に備みて安徽省中央部の合肥及舒城に在る他の一團の日本軍は平漢線を漢口の北方 Hsiao Ho 信陽に於て切斷する企圖の下に西進してゐる。

臺灣總督官房外事課

かしこの方面に於ける行軍も亦遅々としてゐる。しかるが故に行詰り停頓せざるは疑難する。(八・三〇・D・S)

二、旅客機不時着事件

(八月二十七日) 一荒鷲として知られる日本海軍機は八月二十四日石鼓 (Shih Koo) 附近に於て中國航空公司旅客機を不時着陸せしめた。日本機が武器若くは戦闘員を搭載しない旅客機を何故に機關銃を以て射撃したかに關し首肯し得る辨明はなされなない。

先に日本政府は香港重慶間を飛行する旅客機は攻撃されざることを通告した。而かも該航空路は日本が反對するならば飛行を中止せんと企圖して居たのであるが、日本のこの聲明を信賴して中國航空公司は定期運輸を維持してゐた。中國航空会社の総株數の四十五パーセントは汎米航空会社の所有である。約十名の旅客

が機關銃の射撃により負傷し、若くは河中に溺れて死亡した。ダグラス機は陸上機である。それが河中に着水し、操縦者H. Woods は着水後、泳いで助かった。彼が八月二十五日香港に於てなした談話に據れば彼は飛行機が河上に着水したこと以外、出来事を旅客に説明出来なかつた由である。機體は着水後間もなく沈んだらしい。恐らく日本飛行家は立法院長孫科が中國航空機に搭乗せるものと考へたのであらう。S.O.M.P紙は二十五日の紙上に於て日本機が低空飛行し、旅客及乗組員が河上を泳ぐ時、彼等を射撃したことを報じてゐる。吾人は該荒鷲が孫科を片付けやうとしたものと結論せざるを得ない。

この事件はヒューゲツセン前駐支英國大使の射撃事件及楊子江和縣 (Hohsten) に於けるアメリカ砲艦パネー號の撃沈事件を想起させる。日本機は大なるユニオン・ジャック旗を掲げた英大使の自動車に機關銃掃射をした。日本飛行家が驚駭したこ

臺灣總督官房外事課

とには彼等が負傷させた人が英國大使であつた。砲艦パネー號の撃沈は日本が某重要支那將軍が該砲艦上に避難したと想像した事實に基因する。砲弾及び機關銃弾は該砲艦に猛射され、そして攻撃は計画的になされた爲その狙は外れなかつた。これ等兩事件に於ては日本は辯明書を提出し犠牲者に對し損害賠償を支拂ふことを同意した。この兩事件に於ては日本荒鷲は過誤を犯した。最近の事件に於ては假令孫科が搭乗して居たとして中國航空機旅客機を射落したことに對し辯解の辭はない。彼は非戦闘員である。日本は屢々日本が支那軍閥と戦ふのであり、支那民衆を敵とするものに非ずと宣言した。而して孫科は確に軍人でない。合衆國ハル國務長官は香港駐在アメリカ總領事に對し抗議を提出する爲に必要な詳細を蒐集することを命じた。少くとも體面上及人道上的見地より華盛頓政府は今後この種の不法行爲を阻止するため何等かの處置に出づべきである。

(八。二七。C。D。S)

タイプライター用紙

(マニラ)

一、蒋介石の兩子息一はソ聯仕込、一は獨逸留學

蔣委員長の令息經國、緯國兩人は其前妻毛夫人の腹より出たもので、夫々風格を異にするも所謂「龍は龍子を生む」との如く、將來必ず偉大なる功業を建てるであらう。長男經國は本年三十才、民國十四年ロシア留學に派遣されてモスコイ中山大學に入り政治を専攻した。當時國內には革命空氣が澎湃され經國の思想も深刻なる影響を受けた。寧、漢兩國民政府が軋轢分裂する際、經國は其の態度を明示する論文をモスコイ眞理報に發表した處、國內各紙は相争つてそれを轉載し頗る國內一部人士の歡迎を博した。然しこの論文の崇りて親子の感情は非常に傷けられた」と云ふのは親子の政治見解が同じからざる所以で

臺灣總督官房外事課

ある。當時經國は年尚ほ幼きも事物に對する認識を誤ること少く、かつて日はく「目下政治見解の不同で暫時親子の感情は失却するも、他日必ず情勢變轉の日が到來すべく、其の曉には親子倫常の樂趣が恢復されるのみならず、且つ親の指導下に在つて中國の活路を求むる共同目標に向つて邁進するであらうと。昨年抗戰軍事勃發後、經國は果してモスコイより歸國し、父蔣委員長と劇的會見を爲し、公私共絕對的に父の指導に服従すべき旨堅く誓ふた。經國豈に先見の明あるか。才いで國民政府は經國を江西省保安處副處長に任命し、經國は克く簡式輝（江西省主席兼保安處長）を補助して民衆自衛團を組織訓練し、一年來の成績は實に見るべきものがあつた。今回戰火が江西省に波及したが、經國は取つては正さにその十年來モスコイにて修得した軍事政治の知識を傾けて大江西省を保衛する試練期であると國民は括日期待してゐる。蓋し經國は中山大學卒業後、更

タイプライター用紙

らにソ聯軍官學校及紅軍大學を卒業し、戦術及機械化軍器に對しては深奥なる研究を傾んで來たので、それを應用すれば必ずや敵軍の心膽を寒からしむるものがあらう。經國は一面現代青年に愧ぢないタイプにて、極めて儉樸の上に何等の不良嗜好も飲酒、喫煙等々もなく、常に職工服を着用し、妻は留學中に投合したソ聯女性である。

次男緯國は本年二十六才、中央軍官學校卒業後、獨逸の柏林陸軍學校に留學し、毎年優等の成績を以て進級し、尙ほ在學中ではあるが目下獨逸防衛部隊の見習生として入隊して居り、本年末或は歸國して抗戦に參加するとか傳へられてゐる。

(八・二〇―新聞日報)

二、福建政局動搖、陳儀も漢口へ召喚

(香港通信) 一國民政府は福建保安處長葉成を免職後、黃浦

臺灣總督官房外事課

軍官學校第一期生黃眞吾を任命し、同時に内定した葉成の新編第二十師(福建管民軍三ヶ旅を以て編成)副師長兼任一職も突然變更して、陸軍第八十師副師長黃李常を轉任させた。免職の原因は仄聞するに、主席陳儀派と目される右葉成及張果爲(財政廳長)、李進德(福州警察局長)一味が先般反陳儀派の親分たる藍衣社別働隊福建省特務隊長張超を銃殺に付した廉の懲戒總處分にして、張超を改められ、張、李兩氏は中央の召電にて上京中、陳儀も十三日漢口に呼出されたと傳へられ、とにかく張超處刑後福建政局は頗る動搖を來してゐる。

(七・二九―新聞日報)

三、福建省政府敵産管理辦法を制定

(福州通信) 福建省政府は最近福州警察局長李進德の稟議を容れて敵産管理辦法を制定し管内各縣に對して若し敵國人の

財産があれば必ず敵産管理處を設立し専ら之が管理に當らしめらるるやう訓令するところがあつた。李警察局長の呈請に依れば日本及臺灣僑民が福建省内の各地に財産を渺なからず所有してあるが去年是等僑民が本國領事に随つて引揚げた時は各自が多きは名々の財産を嚴封し去つてしまつた。又た當省に踏み留まつた者は省政府に於て之を安全地帯に移したのである。按ずるに是等親留僑民の財産は須らく速に之を管理すべきであるから福建省敵産管理辦法を立案して見た。右制定實施方認可せられたるものと。

（八・一八一新聞日報）

福州通信）福建省政府は本日中央より戦時敵國公私財産の取締辦法を指令されたが其の内容は大體左の通りである。

敵國の公有不動産又は動産にして軍用に供し得らるべきものは直に之を抑留すべく尤も敵國經營の學校及醫院内に於ける貴重物件は之を適當に管理すべし。敵國人の私有財産に至りては

臺灣總督官房外事課

からず之を尊重すべし。但し軍略に交渉ありと認めらるる時は之を抑留し又は其の移轉を阻止し甚しきは之を破壊して可なり。敵國人の企業は一律之を登録監督し其の製造品にして我が國に等しい者は之を抑留すべし。支那人にして敵人財産を管理し又は債權を有するものは一々之を登録せしむべし云

（但し後半は民國二十六年十二月十七日付新聞日報所掲記事を參考のため添付したるものである）譯者）

準備

(河内)

一、雲南・緬甸間の公路竣工し但し未だ通車せず

(雲南通信) 雲南省昆明市より緬甸に至る公路の建設工事は既に竣工した。其の建設費は二百萬元に達し延長八百軒である。此の公路は支那の國境線と相接してゐる。沿道の橋梁はすべて鋼鐵から出来てゐて積載量十二噸の車輛を支へることが出来る由。尤も其の沿道にはガソリンの供給地に乏しい。此の機器の部分品も備はつてゐないから當分の間は通車が出来ない。又公路の土台工事が完全に出来てゐないし、且つ山中の山が崩れる惧もあるから尚更のことである。

(七・九一河内華僑紙)

二、海防の支那領事市邊を往訪し海南島の防備を語る

臺灣總督官房外事課

海防の支那領事は十日午後海防市長を往訪、會見したが其の要約若し日本軍が果して海南島に上陸し而も支那軍に被害の及ぶ上陸を制止するの能力ない場合には佛國當局は如何なる態度に出るか又實力行使の辦法があるかと質したところ同市長は「佛國政府は現在既に駐日フランス大使をして日本政府に警告せせるところがあつた。於是乎若し日本軍が海南島を侵略し而も上陸することでもあつたら佛國は必要のある時出兵を實行する。此の島を保護するには當然充分な兵力を準備してゐる」と答へて佛國の利益を保障せむとしてゐる」と。又「日本の海軍者に對し何等の利益が得難に乏しくて日佛條約の遵守せられねばならぬことを理解して居らぬ」と。(七・一〇一河内華僑紙)

三、海防支那青年の排日宣傳し救亡宣傳社を組織

海防の支那青年團は救亡宣傳社を組織し會員は毎日同社に集

タイプライター用紙



合して来たが大多数の青年は抗日工作に就いて演説を試みてゐた。而も更に宣傳員数人を派出し當地インテリ層の安南人士に向つて日本が無人道な戦争をしてゐること殊に専ら抵抗能力のない者を砲撃したことを宣傳し一般大衆が奮起して日貨を買はざることとを要望してゐる。斯くすれば被侵略者の爲めともならうと。

(七・一一一河内華僑紙)

四、英國船軍需品を積載し海路により支那内地に運ばる

防港口の對岸たる廣安水面に英國船が一隻碇泊してゐたが此の船は多量の軍需品を積載してゐた。其の数量は未だ明らかでないが唯だ融られてゐるのは大砲が四門も積まれてあつたことと此の大砲の射程は十五軒もある由。之は支那政府が購入したもので佛國商人が代つて輸送の衝に當つてゐる譯ですがここ

臺灣總督官房外事課

から海路に由つて支那内地へ運ばうとしてゐる。

(七・一一一河内華僑紙)

五、支那青年航空速成科を卒業し漢口へ歸還空軍に参加す

西貢航空學校には頃來十二名の支那青年が航空技術を學んでゐたが彼等は現在已に其の速成科を卒業した。又彼等は先週西貢から乗船し漢口へ向け歸國の途に就いたが同地着の上は航空隊に参加することとなつてゐる。此の十二名の青年は大部分佛國植民地安南に於ける支那豪商の子弟である由。

(七・一一一河内華僑紙)

六、陳維周海防へ來りて活躍

前慶省の實權者陳濟棠の實兄陳維周は七月十三日東京より

タイプライター用紙

海防へ來着し目下海防備口の桃山てうところに逗留してゐる。彼は遊藝と稱してゐるか其の任務は海防に於て舊時の濟業部下並に失業職工を招募し海防をさせて軍隊に編入する計畫だと言はれてゐる。

(七・一三一河内軍備紙)

七、海防の目下輸入禁止

(香港通商) 一、海防は此の度命令を發し本年七月一日以降日本商品の佛國領土内には輸入され販賣されることを禁止した。例へば瀬戸物、磁器類、食料品、棉織品、糸織品及兒童の玩具類等は眞先に禁輸された。

(七・一四一河内軍備紙)

臺灣總督官房外事課

タイフンライター用紙

華僑

(爪哇)

一、漢口日本租界を第四特區と改名

(漢口中央社電報) 支那當局は八月十三日に於て正式に漢口の日本租界を接收したから往年の獨逸及露西亞の租界の先例に倣つてそれを第四特區と改名した。即ち元の獨逸租界は第一特區、露西亞租界は第二特區で英國租界は第三特區であつた。又日本租界内の町名も總べて改められたが其の内最も主なるものは五卅街、一二八街、七七街、八一三街、九一八街、郝夢麟街、盧溝橋街、姚子青街及台兒莊街(譯者註)街とは町又は通りのこと)等である。此の他にも尙ほ少くない新しい町名が出来て夫々殉國の軍將士を記念しつつあると。

(八・一五)新報)

臺灣總督官房外事課

二、廈門の僑務局福州に移轉

廈門僑務局は廈門が陥落したので福州に移轉し執務することとなつた。同局長江亞暉は右に關して本年七月二十五日附次の通り公告するところがあつた。

僑務委員會の洪移第二一三〇號訓令に據れば曩に廈門僑務局より廈門陥落の經過に就いて報告があり兼ねて今後華僑の出入中心地は之を福州に收むべきであるから同地に僑務局移轉方針をせられたしと稟請し來つたが唯今行政院より漢第二八六六號令を以て右稟請の趣許可する旨通知して來た。就いては速に福州局を福州へ移轉し辦事處を設置する事に致したい趣であるから本局は七月二十五日福州倉前山洋墓亭南路第八號の地點に辦事處を設け事務を始むることになつた。

(八・一五)新報)

三、廣西省の豫備部隊參戰を準備

タイプライター用紙

(桂林通信) 一廣西省の健兒は抗日第一、第二期の作戰に於て血肉長城にも比喩される程奮戦し國土を守る爲めに動員して前線に参加したる者は無慮五十餘萬人に達した。彼等は已に長い間苦戦を重ねて来たものの今尙ほ其の從來の實力を保持することが出来てゐると同時に同省の軍事當局は又よく中央の動員計畫に従つて速に兵員を訓練補充しつつあるから廣西省の兵的资源は十二分であり又抗戰気分は相變らず緊張し切つてゐるので恐らく支那全國に好調の模範を示し得よう。七月二十七日軍部の消息に據れば李總司令(宗仁)は現在〇〇方面の作戰を擔當し抗敵第三期戦を開始し、つあるが同總司令は兵的资源の充實を圖り依て以て作戰の進捗に便せしめたい見地の下に最近已に副總司令兼副參謀長白崇禧と商議を遂げ總副司令の名義を以て第五路軍總參謀長及副に對し豫備部隊を適當に編成し速に訓練して抗戰に便せしめるやう通令するところがあつた。元來當

臺灣總督官房外事課

省の兵力にして未だ前線に動員されなないものは今尙ほ若干萬もある。抗戰兵力は至つて充實して居り之が豫備部隊の編成は極く容易であると。夏總參謀長は直に李白練副司令の命令に従つて之が編成に着手し茲一週間の内已に編成を完了し豫備軍師と命名して頼りに訓練を加へてゐるが是等は目下第三期抗日戦に加入すべく待機中である。又總司令部某責任者の談に據れば廣西省の正規軍を除く外の兵力は昨年七月七日現在の統計では二百三十萬人位であるが第一、第二期戦を終へた今日でも未だその四分の一しか使用されてゐなかつたから假令今後之を補充しなくても既に第八期の抗日戦を突破することが出来る。第三期戦に参加する抗戰部隊は已に編成を完了し動員待機中であるが若し近き將來前線に於て兵力の補充を必要としないやうであつたら或は是等豫備部隊を動員しないかも知れぬと。

(八・一〇一新報)

比律賓

一、ケソン大統領の日本訪問

今般のケソン大統領の非公式日本訪問は米國側の關知するところでは彼が日本人高官連と相交はつて居り其の行動は比律賓國家を傷つけるものであり、延いては米國人の憤怒を醸成するものとして極度に其の成行きが注目されて居り、米比兩國に相當の反響を呼んで居る様である。

今次の日、支事變に於いて見るが如き日本側の米國に於ける利益の無視並びに非戦闘員に對する攻撃は明かに米國に挑戦するものとして米國側を憤慨させて居り、日、米間に於いて日、支事變の如き戰鬪が萬一起つた場合にと云ふことを考へるとき彼の行動は思慮分別なきものとして批難攻撃されて居る。

尙之れに就いてハル國務長官は「私が知る範圍ではケソン大統領

臺灣總督官房外事課

領が日本に居ると云ふことだけであり、すばらしい良き隣國の、スチユアに應じて一國の高官が他國へ訪問することは通常の、は結構なることである」と云ひ其の他のことに關しては何にも語つて居らない。

一訪問の目的——米國と何等相談することなくしてケソン大統領の日本人高官連との親交は比律賓高等辨務官マクナット氏を無視するものであると同時に米國大統領ローズベルトに反感を抱かして居る様である。

ニューヨークヘラルド紙に掲げられたる記事に依ると今般のケソン大統領の訪日の目的は日本政府が果して比律賓に對して野心を抱いて居るかどうかと云ふことを確認せんがために個人的に日本人高官連と交して其の實證を得んがためにと又一方比律賓に於いて親交のあつた日本人達の招聘をも兼ねたものであると秘表されて居る。之れに先立ちケソン大統領が日本を訪問すると云ふこと

が一度發表せられるや日本人の高官連は一我は比律賓に對して野心を抱いてない」と云ふことを彼に知らしめんものと大いに歡迎して居つたのである。

日本の南方政策に對するケソンの懸念は今の處日本が海南島嶼を計畫して居ると云ふ報告に接して益々増長されたものと云ふべく、若し日本が海南島一比律賓を去る三百哩の地點にある一を占領すれば果して比律賓は如何なる結果になるか、北に臺灣あり更に委任統治領あれば比律賓は日本に取巻れたる領土となる。されば何時の日か比律賓は日本に取られるに非ずかと云ふ懸念はケソン大統領の日本訪問を計畫したものであるが、果して日本の高官連が比律賓に對して領土的野心を彼に言明するが如きことを爲すであらうか、恐らくは日本の高官連はケソン大統領に領土的野心がないと誓ふに相違ない。

臺灣總督官房外事課

（領土的野心の否定）日本の高官連はケソン大統領の日本訪問を良い機會として我は比律賓に對して領土的野心はないと何れも比律賓の獨立を保證する如く云ふであらう。其の結果としてケソン大統領は日本は何等比律賓に對して領土的野心はないと認めることであらう。

日本はケソン大統領が未だ外國問題に對して何等權限を有して居らないと云ふことは良く承知して居るが、彼はケソン大統領に米國に對して獨立をなさしめるがため努力するであらうと云ふことを主張することであらう。

（七・二三一P・P）

二、日本水兵の海南島上陸企圖

（廣東、七月三十日）日本人の水兵達は昨日海南島上陸を企みたが敗退の屈辱を蒙るに至つた。尙發表せられたるところに依れば七十人の日本水兵がパラセル群島の前面に位置して居る水に上陸せんとせしことは非常に注目せられて居る由。

タイプライター用紙

一七・三〇一P・H

三、マニラ華僑會コレラ豫防注射液送付

漢口政府の求めに應じ、今週マニラ華僑會では支那本國に蔓延を極めて居るコレラの豫防注射液百萬本を比律賓赤十字社に注文をした。

因みに新嘉坡の南洋華僑聯盟ではマニラより來たる百萬本と合算して計六百萬本を本國に向け送る手筈であると。

一七・三〇一P・H

四、日軍スパイを奥地へ派遣

〔漢口、八月三日〕支那側の報ずる所に依ると日本軍はスパイや妨害者を支那北部或ひは東部に派遣しつつあり、之等の人々は張鼓峰の新情勢を探究せんがため派遣されたものであると述べて居る。尙支那新聞紙上に依れば上海地方に居る探偵は最早や朝鮮に赴いて居る由である。

臺灣總督官房外事課

センチユラル紙に依ると日本軍の北京防禦のため駐屯して居る軍隊は二千人のみであり其の他の兵隊は撤退して居るとのことである。

一八・三〇一P・H

五、日本の取るべき手段は妥協なり?

〔上海、八月八日〕外國人側の意見としては「日本軍は漢口陥落後の取るべき手段は妥協であらう」と考へて居る様である。然し注意せねばならないことは支那との妥協は蔣介石を中心としなければならぬことであるが現在の所蔣介石と日本が手を取り合ふことは不可能なることである。

漢口に居るスパイ・シスマンは日本軍は考へ方に依つては九江の南部の進軍に成功したかも知れないが、然し其の軍隊が今の状態に瀕して居る状態である。且つ揚子江南北岸の氾濫(黃海附近)は日本軍の撤退を餘儀なくし、支那軍隊の手に占領されて居る

タイプライター用紙

由。

一八・八一・日

六、日本の背後にありて後押しするは英國か

一巴里、八月三日一日露の感情今や激せんとして居る折、英國は同盟國たる露西亞に對し自制を促がして居る様である。

英國の意見としては「チエツコ問題が圓滿な解決を見ず、然るに英國の裏切的行爲が漸次其の姿を現はしつつある今日、若し露西亞政府にして日本と相戦はば嘗つて露西亞が蒙つたが如き英國秘密結社のクレーム宮殿の破壊等の如き政府をして狼狽せしめる如き危険なる状態を實現する虞れあるが故に露西亞政府としても英國の今後の行動に注意すべきである。

要するに、日本の背後にあつて後押をして居るものこそ英國と見做すべきであり、其の他の諸國も露西亞に對して常に邪慮立をして居るのである。其れ故佛、露はあくまでも英國を排斥しなげ

臺灣總督官房外事課

ればならない。』と云ふのである。

斯くて英國は露西亞に對して戦争の起らない様に勸告して居る模様である。
一八・四一・日

七、日、露間の紛争

宣戰布告もしない戦が最早や一年以上も経過した今日、又復たに前者と性質を同じうする第二の非宣戰布告の戦が張鼓峰に其の源を發して日、露間に勃發した。此の境界戦に於いて戦死したる者は日本四〇〇名、露西亞一三人と云はれて居る。尙ソ聯政府の發表するところに依るに今次、日、露間の戦闘は砲兵の支持を得て居る歩兵がソビエツト軍隊を攻撃しシベリヤを去る四軒の地點に侵入したことに依つて戦が始まつたものと云へる、然し今回の戦は我々は少しも恐怖を抱いて居ない。』之れに對するに日本側の報道は六ヶ師團の聯兵が國境線に侵入したため我が兵は之れ

タイムズ紙

を撃退し、六機のロシヤ飛行機を打落したと報じて居る。
 然し一方之の戦はしばしの間日本の支那への侵入を中止さし、
 今までの關心がソ聯に向けられるものと考へられる。且つ日本の
 主力がソ聯兵撃退のために此の地に集注することは肯けられる。

一八・六一P・B

臺灣總督官房外事課

一、暹羅市場に於ける日本品輸入状況

暹羅の輸入市場に於ける主要三十品の本年六月中に於ける日本品輸入額は三二八、五〇一銖にして、昨年同月の六〇一、九四三銖に對して二七三、四四二銖の激減を示してゐる。因みに本年四月の同品目邦品輸入額は三六六、三三一銖、五月三七八、三〇七銖であつた。昨年六月以來の同品目最低輸入額は本年二月の二八六、七五八銖であつた。右品目の本年六月に於ける世界各國よりの總輸入額は一、七三五、三八三銖にして、前記日本品輸入額はその一八・九三%に當り、同じく四月は一八・九九%、五月は二一・七二%に當る。

(備考)一九三五―三六年中の邦品輸入額は暹羅の總輸入額の二九・二%を占め、第一位であつた。

七、臺灣總督官房外事課

二、上海居住日本人の激増に外人脅威を感ず

(伯林發) 上海に於ける日本人居住者は職團員を除いて既に三萬五千人に達し、而も毎船多數の移住者が乗込んで來てゐる爲め、最近歐米人間に一種の恐怖感を捲起してゐる。

一八七〇年には日本人の上海居住者は僅かに七人に過ぎなかつたが、一八八五年には六百人となり、日清戦役後の一八九四年には七百三十七人、日露戦役後には二千人に達し、世界戦争勃發の一九一四年には九千二百人、一九三二年には二萬八千八人に上つたものが、今日では一躍三萬五千人に達せるもので、他に未登録のもの約三千人と推定されてゐる。

(七・三〇一B・T)

三、比島の經濟的凋落と日本の進出

(七・一八一カリフォルニア發) ミネソタ大學教授レノア・ミルス氏は同大學に於ける講演に於て比島獨立問題を論じ、米國が若し比島から手を引くに至れば、比島の經濟は凋落の外なく、その機に乗じて日本の進出が實現するであらう。比島支那に關して戰爭の惹起さるるが如きことはあるまい。何故なら、比島の如き小さな獲物を得る爲めに、日本が米國を敵に遇して開戦するが如きことは謀想されないのである。日本の進出は經濟的攻略の形となつて現はるるであらう。

(七・二〇一B・〇)

四、在香港支那避難窮民實に三萬人
 (香港發) 政廳發表に據れば、戰禍避難支那人中香港市の街路に野宿して生活してゐる窮民は三萬人に達してゐると言ふ。此の中の四千五百人は何等生活の手段を有せざる婦女子であり、

臺灣總督官房外事課

冬期となつて、此等の窮民を如何に處置するかは、一般に苦慮されてゐるところである。立法會議に於ても此の點に討論齟齬せられたが、差し當つて大キャンプを用意して之に收容することとなる模様である。之に要する天幕代五十二萬元、扶養費三十二萬元と見積られてゐる。(七・二九一B・〇)

五、日支事變の爲め一英商自殺す

(倫敦發) 漢口駐在英國總領事チヨード・モス氏は、パツテンソンに於て自殺を遂げた氏の實弟たるウイリアム・スタンレー・モス氏の死因検査に際し、證人として左の如き意見を述べた。

ウイリアム・スタンレー氏は豫て日本筋との取引商人として輸出貿易方面に活動せるものであるが、日支事變以來事業不振に陥り、近來頗る之を懊惱し居れるものにて、恐らく之が氏の自殺の直接原因となつたものであらうと。(七・一九一B・T)

タイプライター用紙

一、佛國訪問の佛支銀行總裁寄星談

支那の政府は向後五ヶ年間若し必要があれば日本の侵略に抗
争し得ると支那中央政府大使兼佛支銀行總裁 LION FOR TELERS
氏は本日 M. M 汽船にて渡佛の途次來星した。

同氏今回フランス訪問の用務に關しては言及を避けた。
據へ日本が漢口を占領するとも支那は依然執拗に抵抗しやう。

(八・三一B・T)

二、支那救済基金再應募

(イポー、八月三日)

上海方面に事變擴大を見たる八月十三日の一周年を迎ふるに
當つて、支那救済基金への獻金再應募が在馬華僑に要求せられ

臺灣總督官房外事課

てゐる。吉隆坡在留華僑馬來聯邦支那領事 (SOU SEE-CHOW) か
らの書面によれば、在住華僑は八月十三日支那事變救済基金に
獻金をすると共に、各月七日は之を記念する爲め節食すべきで
あると。

(中略)

即ち在留華僑は男も女も母國に對し、支那救済基金へ各月分
納制を以て獻金を行ふべきであり、尙毎月七日には華僑各戸は
美食を絶つて當日を記念すべきであらうと。

スランゴール州華僑は八月十三日基金募集を行ふに決し、ペ
ラ州華僑も之れに倣はれたしと要望し來つてゐる。

若し男も女も全華僑が母國への基金獻納を行へば、支那は必
然的に最後の勝利を把握するであらうと。

(八・四一S・T)

三、支那向コレラ豫防注射液の大量輸送

タイプライター用紙

既報の如く、新嘉坡國際聯盟保健部東局經由、世界各國よりの支那向コレラ豫防注射液八百萬本の一部が今朝香港へ向け積出された。

ビルマより密輸の五萬本容り二函はラングーンより英印汽船により着貨し、今朝ケー・ビー・エム汽船へ積替へられた。

二千弗餘に上るビルマの本製品は世界各國が支那四億住民の健康を保護し、疫病蔓延を防止するため協力せんとする舉措の實例として推賞すべきである。

ワクチンによる天然痘及コレラ防遏手段は從來支那に於ても支那中央並地方衛生當局と提携して實行されて來た。

ワクチン八百萬本は急速に蔓延しつつある疾病を阻止するため緊急必要で、支那衛生當局より國際聯盟への要請に應じたものである。新嘉坡保健部東局々長シー・エル・バク博士は目下吉隆坡醫學研究所に於て海峽植民地及馬來聯邦兩政府の獻納

臺灣總督官房外事課

による五十萬本の注射液を製造中であり更に其他の極東諸國により寄贈されるワクチンの數量は次の如くであると陳述した。

東洋諸國

- 印度支那 五十萬本
- 錫蘭 五十萬本
- 比律賓 百萬本
- 濠洲 五十萬本

其他諸國

- 土耳其 百萬本
- ルーマニア 百萬本
- 米國赤十字 二百萬本
- 亞爾然丁 五十萬本
- 丁抹 十萬本
- ニーゴスラビア 五十萬本 (八・四一S・T)

タイプライター用紙

四、本年七月中日本向ゴム及錫激減

本年七月英領馬來よりの錫及ゴム積出月別統計によれば、同月中馬來より積出せるゴム四三、六〇八屯の中僅々一、〇二八屯が日本に輸出された。六月には二、七二六屯を前年一―六月中輸出せる月平均輸出額は三、〇五三屯に上つた。

又錫は七月輸出總額五、九二三屯中僅か一六三屯、六月には三三九屯を積出した。日本に於ける錫及ゴムの輸入急落は日本政府が輸入支拂資金を制限するため今後輸入許可の發行を阻止せるが爲めと謂はれてゐる。

本年上半期中馬來への日本商品輸入は馬來より日本向輸出二四、一一七、〇〇〇弗に對する總額五、九五六、〇〇〇弗に過ぎない。前年同期には日本よりの輸入は約二千五百萬弗であつた。

(八・四一S・T)

臺灣總督官房外事課

五、在新加坡華僑團體の八・一三記念行事

華僑總商會に於て開催の上海華僑紀念一周年會に華僑組合、俱樂部及協會三十有餘の代表凡そ二百の貴顯紳士淑女が參集した。右會合は致多華僑協會によつて組織され、一萬有餘の參加を見た七月七日の一周年行事と同様であつた。

支那商店女子、女生徒、成少年男子は市内到る處に於て中國救濟資金の一助として花賣りをした。

然し華商店舗よりは中國政府より當日國旗掲揚方に關し何等通牒なきため之を掲げるものはなく、頗る平靜裡に陣没將士の英靈に對し默禱を捧げ會長の演説ありたる後、中國國歌を高唱した。新加坡總領事高凌百及同氏夫人は成婚指輪を救濟資金に獻納したと謂はれる。

(八・一三I S・T)

六、英、新水雷艇隊香港へ

新たに地中海遣外艦隊に所属せるものと同様六十呎、十八屯の新水雷艇隊が遣支艦隊基地に曳航中で、第一班は本月末日着香することになつてゐる。

水雷及機關銃が武器とし、速力は公表されないが、高速であるといはれる。

水雷艇十二隻追加注文が各造船會社に發せられたと英海軍省は發表してゐる。之れにより英國は同種軍艦僅々七を入れた海軍建艦を凌駕することとならう。(八・一九一〇・三)

七、佛國極東海軍司令官新嘉坡へ公式訪問

フランス極東海軍司令官 Admiral Le Bilot は今回新嘉坡公式訪問に際し七千屯級巡洋艦 *Le Goutte-Piquet* 便乗來朝着星した。

同司令官は滯星中海軍根據地及空軍根據地を視察する豫定で

臺灣總督官房外事課

ある。

(八・一九一〇・三)

八、土民兵の大量訓練は不可か

(パタビア、八月十九日)

陸軍土民兵の大量訓練に關し蘭領印度に於てとれる手段が曠古に於て土人議員によりて質問され、歐洲人側の主要機關紙 *ヤヴァ・ボーズ* に鋭く反對されてゐる。

同紙は土民兵は總體に同種族の上官よりの命令よりは寧ろ歐人士官の命令に進んで遵奉すると主張してゐる。

更に政治的運動に加擔する兵士には刑罰規定を勸奨してゐる。

(八・二〇一〇・三)

九、漢口は第二のヴェルダン

(香港、八月十七日)

地方新聞に發表の公開文に前國務外交部長汪精衛は漢口は日本への抗戰の最主要點であると。

漢口は支那政府の最後の足場なるが故に如何にも死守せねばならぬ。

漢口陥落は北京、天津、南京及徐州の陥落より以上大なる意義を有するものであらう。

嘗へ漢口落城後、國民政府は奧地へ移轉出來ても日本軍の駐屯によつて本政府は日本に隷屬せしめられるであらう。

汪は漢口を「第二のヴェルダン」と呼び、ヴェルダン同様強化せねばならぬと説述してゐる。(八・二〇一頁・上)

一〇、關印更に爆撃機を整備

(パタビア、八月十九日)

關印陸軍省は本年追加豫算として一千三百萬弗を承認すること

臺灣總督官房外事課

と成り、或は主としてグレン・マルチン爆撃機隊及陸軍新飛行場の設置に充當するものであると。(八・二〇一頁・上)

一一、一九三八年マレイ人口數發表

支那人マレイ人を凌駕し首位を占む

八月十九日附海峽植民地政府官報に於て本年六月末日現在に於ける全馬各州の人口統計が發表されたが、ココス島、クリスマス島、ラプアン島を含む全馬來人口五百二十三萬八千九百五十九名で、其中支那人が馬來人を壓すること二千餘の二百十九萬五千六百五十六名を以て第一位を占めてゐることは注目される。

全英領馬來 五、二三八、九五九

内 譯

支那人 二、一九五、六五六

タイフンイター用紙

又新嘉坡に於ては全島人口七十一萬三千三百七十七名を數へ、その中
 支那人が實に五十一萬八千八百八十九を占めてゐる。
 海峽植民地及各州別概略左の如し。

馬來人	二、一九三、二五五
印度人	七四八、六一四
歐洲人	二六、五五三
歐亞混血人	一八、一四四
其他	五六、六六七
新嘉坡	七一〇、〇三七
内 譯	
支那人	五四八、〇八九
馬來人	七二、五八九
印度人	六〇、四二七
歐洲人	一二、二一一

臺灣總督官房外事課

歐亞混血人	七、七五五
其他	九、九六六
計	七一〇、〇三七
彼南	二三五、九六九
馬來人四萬餘、歐人二千餘、支那人十五萬六千、	
印度人三萬三千	
馬拉加	二二三、九九一
馬來人十七萬七千、歐人五百、支那人八萬五千、	
印度人二萬八千	
ペラ州	九三八、四二一
セランゴール州	六六一、〇〇八
ネグリスマムピラン州	二八一、〇八九
パハン州	二〇九、三一七
ジョホール州	六一九、五〇六



ケ	ダ	州
ケ	ラ	ン
ト	レ	ン
パ	ー	リ
ス		州

四	九	九	、	八	三	四
三	九	四	、	二	九	七
一	九	九	、	七	二	八
五	四	、	九	四	四	

(八・二〇一新日)

臺灣總督官房外事課

タイフンイター用紙

(日本標準規格B.4)